

いっぱい考え なんでも本気 いつでもチャレンジ 稲井つ子

籠峰山



着地点 元気のよいあいさつがかわされ、笑顔とキラキラ言葉にあふれる学校

学校HP

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20301900/index.html>HP

学校だより

石巻市立稲井小学校

校長 高砂 宏之
(文責 教頭 石川裕一)

令和5年7月20日(木)

No.5

「イナイリュウはどこに」

校長 高砂 宏之

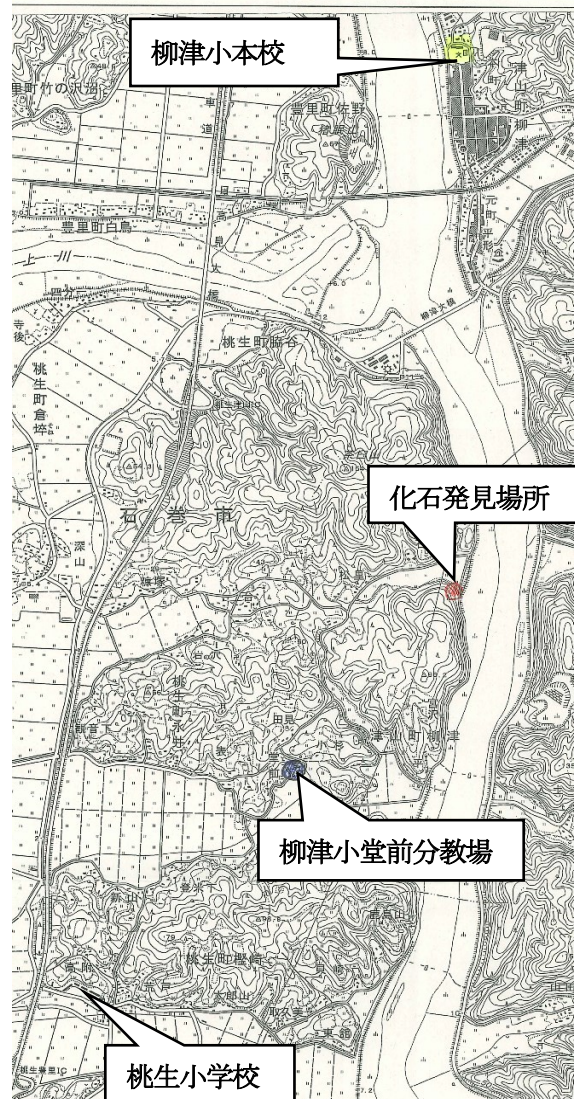
保護者の皆様、1学期間学校の教育活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげさまで、無事に終業式を迎えることができました。明日から38日間の長い夏休みになります。安全で、有意義な休みとなりますよう願っております。

7月の朝会で児童のみなさんにはお話したのですが、4年ほど前に「イナイリュウはいずこへ」という本が出版されました。著者は鈴木孝也（すずきこうや）さんと、三陸河北新報社報道部長やラジオ石巻専務取締役などを務めた方です。イナイリュウという名前だけは聞いたことがありましたが、どのような生き物だったのか全く知らなかったのので、この本を購入し読むことにしました。

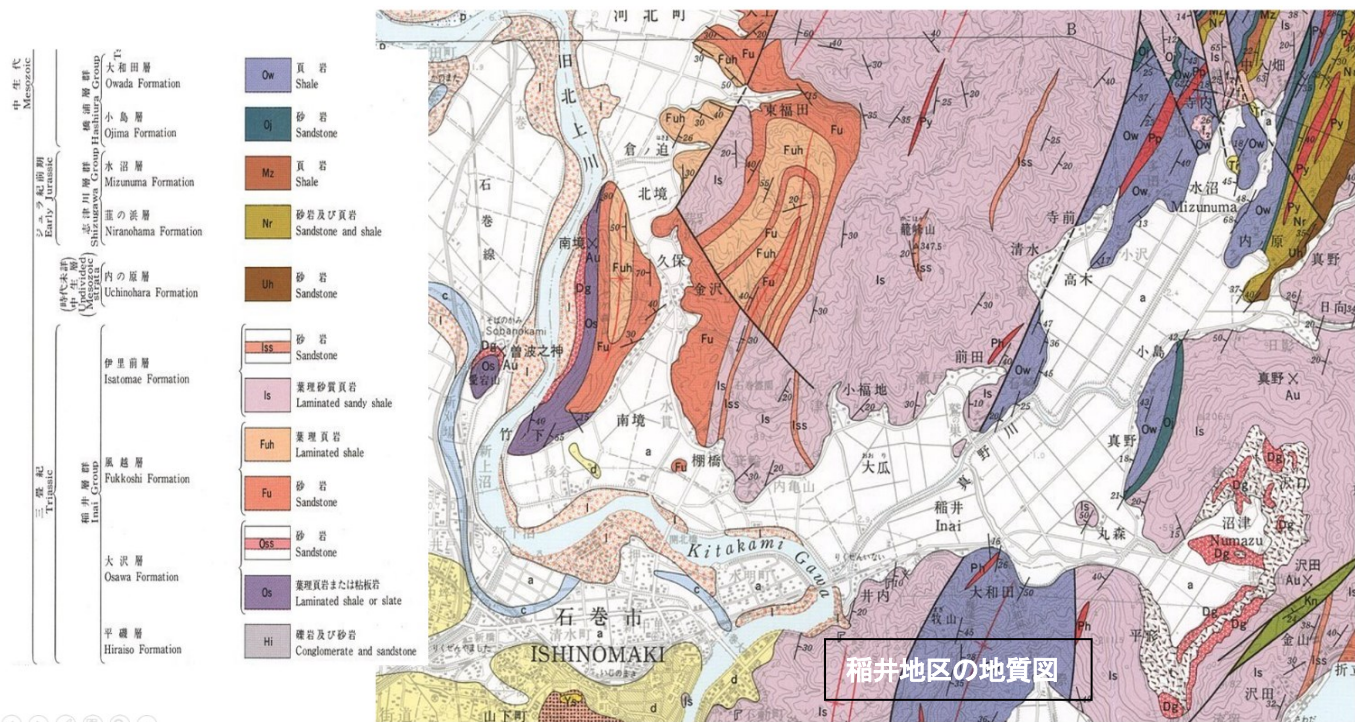
私は大学で、高校理科教員養成課程で地学を専攻していました。卒論は、「石巻地方の古生代や中生代の堆積岩に含まれている鉱物（特に黄鉄鉱：パイライトともいいます）を採取してきて、それを電子顕微鏡で観察し、結晶の形を明らかにする」というものでした。黄鉄鉱は六面体（さいころの形）、八面体（ピラミッドを上下さかさまにして2つ張り付けた形）、十二面体（五角形が12面あるサッカーボールに近い形）の3種類の結晶のタイプがあります。結晶するときの温度や圧力によって結晶する形が違ってきます。

さて、本題のイナイリュウについてですが、いつ・どこで・だれが発見したのかこの本より紹介します。

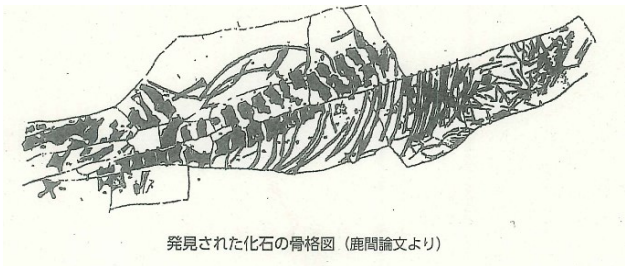
発見されたのは今から84年前の1939年（昭和14年）、日本は日中戦争の最中でした。発見者は柳津小学校堂前分教場に勤めていた鈴木喜三郎先生（当時55歳）でした。この本の著者鈴木孝也さんのおじいさんだそうです。この堂前分教場のあった、堂前地区ですが、桃生小学校区の隣にある地区です。喜三郎先生は、発見した日、柳津小本校で仕事を済ませ、堂前分教場に併設されている住宅に帰るために5kmあまりの道のりを歩いて帰りました。急ぎ足でも1時間余りかかります。途中の石生（いしう）という地区のがけに化石のようなものを発見しました（地図参照）。なぜこの場所で発見されたのかというと、1931年から洪水防止のため、北上川の流路付け替え工事が行われており、この工事に伴う道路拡張工事中で、がけが削られて地層が露出していたようです。発見された化石はその後東北帝国大学地質学古生物教室に運ばれました。そして、クリーニング作業が行われ鑑定されました。化石は恐竜が地球を支配した時代よりも古い中生代三畳紀前期から中期の絶滅海生爬虫類ノトサウルス類と判明。学名を「メタノトサウルス・ニッポニクス」と名（愛称）は稲井層群の地層から見つかったため、「イナイリュウ（稲井竜）」と名付けられました。化石は日本最古の爬虫類、アジア最古のノトサウルス類として国内外の研究者から注目を浴び「世紀の大発見」とまで言われたそうです。稲井層群は中生代三畳紀に北は岩手県と宮城県境付近から、南は牡鹿半島を結ぶ南部北上高地周辺に形成された地層群です。名称は石巻市稲井地区が由来となっています。この地層から採れる石は稲井石と呼ばれ昔から、石碑や記念碑に使われてきました。稲井層群はさらに細かく分類され、古い順に平磯層（ひらいそそう）、大沢層（おおさわそ



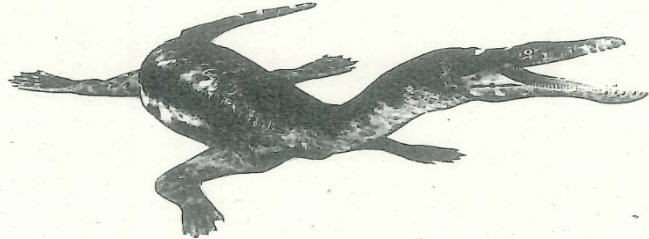
う)、風越層 (ふっこしそう)、伊里前層 (いさとまえそう) が堆積しています。イナイリュウが発見されたのはこの中の平磯層とされています。イナイリュウが発見されてから、30 年ほどしてから発見された有名なウツツギョリュウは大沢層から発見



されています。イナイリュウの化石はこの後、戦中か戦後に東北大学から消えてしまい、見当たらなくなってしまったとのこと。そのため現在では写真も残っておらず、骨格図のみが残されています。発見場所は、現在はがけ崩れ防止のためコンクリートで覆われており、イナイリュウが発見された場所を示す小さなプレートが取り付けられています。



発見された化石の骨格図 (鹿間論文より)



ノトサウルスを想像した絵

なぜ、このイナイリュウについて取り上げたのかというと、稲井小学区の大部分は中生代三畳紀の地層で、アンモナイトなどの化石が出る地層です。そんなわけで、稲井小のみなさんにもイナイリュウやギョリュウなどの化石を発見することができるかもしれないところに住んでいるということを知っておいてほしいのです。ひょっとすると第2のイナイリュウやギョリュウ、はたまた、別の生き物の化石を発見し、後世に名前が残るかもしれません。ぜひ、がけなどを見たら何か化石が見えないか目を凝らして見てください。福島県で発見されたフタバスズキリュウは高校生だった鈴木さんが、仙台市で発見されたミヨコゾウは小学校6年生だった斎藤美世子さんが発見したからその名前がつけられました。稲井小学区から新たな化石が発見される日が来るのではないかと期待しています (自由研究のヒントにでもなれば)。

夏休みの予定

- 7月21日(金)三者面談
- 7月24日(月)三者面談
- 7月25日(火)三者面談
- 7月26日(水)プール解放 午前、午後
- 7月27日(木)プール解放 午後
- 7月28日(金)プール解放 午前、午後
- 7月29日(土)とっておきの作品展(ナリサワ)
- 7月31日(月)プール解放 午前、午後
- 8月1日(火) プール解放 午前、午後
- 8月2日(水)プール解放 午前、午後

閉庁日や夜間などの緊急連絡先 070-1306-4198

- 8月3日(木)プール解放 午後、鼓笛練習
- 8月4日(金)プール解放 午前、鼓笛練習
- 8月6日(日)川開き鼓笛パレード
- 8月7日(月)プール解放 午前、午後
- 8月8日(火)プール解放 午前、午後
- 8月9日(水)プール解放 午前、午後
- 8月11日(金)山の日
- 8月14日(月)~18日(金)閉庁日
- 8月26日(土)PTA 親子奉仕作業
- 8月28日(月)2 学期始業式

